

求める人材像

- ▶ 公務員として必要な倫理観と使命感を持ち、自らを高める努力を続け、周りから信頼される人
- ▶ 組織の中で自らの責任を自覚し、目標達成に向けて粘り強く行動することができる人
- ▶ 様々な人と関わり、対話し、協働して課題解決に取り組むことができる人

県の基本目標

- ▶ 人と自然がいいきいと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形

政策の柱

- 1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保
- 2 競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
- 3 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
- 4 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり
- 5 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用

第4次山形県総合発展計画の詳細は ▶



2025年度の施策展開の主な方向性

【重視する視点】

- ・特に重点的な対応が必要となる課題について、部局や分野の枠を越えて「政策横断」的に推進
- ・「新たな技術」や「多様な価値観」、「国内外の活力」を積極的に取り込むとともに、市町村をはじめ、県民、NPO、企業、大学など「多様な主体との連携」を加速し、新たな取組みにも積極的に「挑戦」

【主な方向性】

1 中長期を見据えた「人口減少対策」の強化

- ・若者・女性の県内定着・回帰の促進に向けた、魅力的な、働きやすい、暮らしやすい地域づくり
- ・暮らしの様々な分野におけるデジタル化の推進
- ・外国人材の受入・定着の促進に向けた多文化共生の推進、大学・企業等と連携した受入れの拡大 など

2 時代の変化を推進力とした「産業の稼ぐ力の向上」

- ・デジタル技術の活用等による企業や農林漁業者等の生産性向上の促進
- ・再生可能エネルギーの活用をはじめ、企業のカーボンニュートラル・資源循環に向けた取組みや関連産業への参入の促進
- ・国内外から多様な来訪者を呼び込む魅力や価値のある交流機会や交流プログラム等の造成と発信力の向上 など

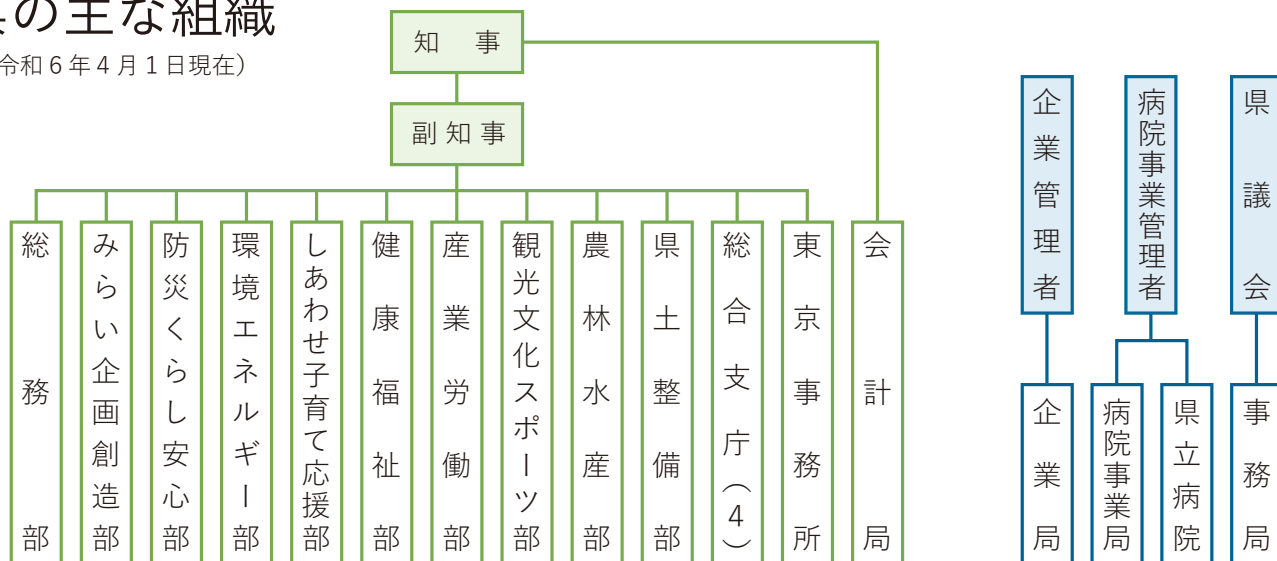
3 様々なリスクへの対応強化による「安全・安心の確保」

- ・事前防災から応急対応、迅速な復旧・復興まで、関係機関と連携したハード・ソフト両面からの対策の充実
- ・異常気象から県民の命と暮らしを守る取組みの強化、本県産業における地球温暖化への計画的な対応の推進
- ・超高齢社会を見据えた医療・福祉・介護提供体制の整備、健康寿命の延伸に向けた健康づくりや高齢者の社会参画の促進 など

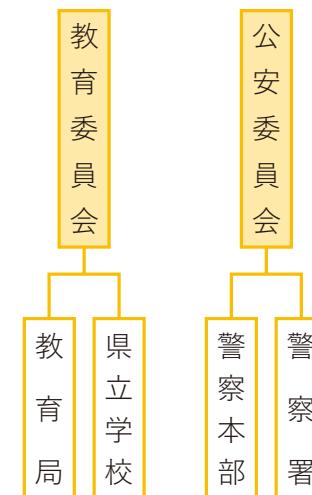


県の主な組織

(令和6年4月1日現在)



県の主な機関



村山地域

- ①山形県庁
- ②村山総合支庁
- ③村山総合支庁西村山地域振興局
- ④村山総合支庁北村山地域振興局

最上地域

- ⑤最上総合支庁

置賜地域

- ⑥置賜総合支庁
- ⑦置賜総合支庁西置賜地域振興局

庄内地域

- ⑧庄内総合支庁

※ 県の機関は、ここに掲載した以外にも県内外にあります。